

中学・高校生～

2022年3月 no.81

よんでネット*

2022

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



理論社 [913オ]

「虫のいどころ 人のいどころ」 「虫のお知らせ」 「虫愛づる 姫もどき」

作／おのりえん
絵／秋山あゆ子

都心から、緑濃く虫の多い田舎に引っ越して来た
よりさん一家。よりさんは、都会でお目にかからない
虫たちにぞわぞわしつつも、気になって仕方ありません。
啓蟄が過ぎ、少しずつあたたかくなると、まるで虫が
呼び寄せたように不思議なことが次々に起こり…。

二十四節気と共に成長する虫嫌いの家族の物語。

「せいめいのれきし 改訂版」

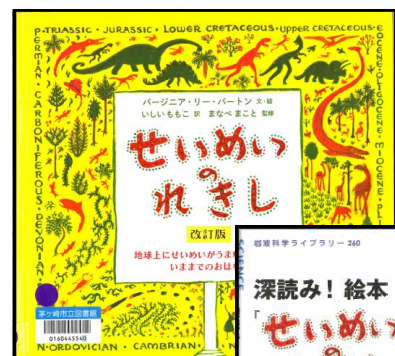
バージニア・リー・バートン / 文・絵
いしいももこ / 訳 まなべまこと / 監修

「深読み! 絵本『せいめいのれきし』」

岩波科学ライブラリー-260

真鍋 真

地球の誕生から 今 この瞬間まで続く長い
長い命のリレーを、その時代の生きものを主役に、
与幕34場の舞台仕立てで描いた絵物語
『せいめいのれきし』。この本をこよなく愛する恐竜
博士が、見どころを解説し、しかけを読み解き、
最新の情報も紹介します。



岩波書店

〔E
絵本のコーナー〕



岩波書店 [457マ]

岩波ジュニアスタートブックス

「俳句部、はじめました」

さくら咲く一度っきりの今を詠む」

この
神野紗希

俳句ってちょっと古くさいし、教科書の俳句は自分とは遠い世界の話のよう？でも、五七五のリズムに乗せ、季節の言葉「季語」の力を借りれば、どんなことも俳句にできます。クラス委員の号令だって俳句になります。

「起立ねし着席青葉風過ぎた」

この本でちょっとしたコツを知って、一度っきりの今の思いを俳句に託してみませんか？



岩波書店
[9117]

「彼方の光」

シェリー・ピアソル/作
斎藤 倫子/訳



偕成社
[9332]

160年ほど前のアメリカ。11歳の黒人奴隷サミュエルは、親がわりの年老いたハリソンからカナダへの逃亡を告げられ、農場から脱出。北をめざす。

追手にびくびくしながら穴や木の上に隠れたり…。途中逃亡を助ける地下鉄道の人、教会の人、自由民(奴隷から自由になった人)に導かれる。こわい人に会ったり、猟犬から逃げたり、苛酷な思いを乗り越え、2人は自由の国へ…。

「不思議の国のアリス」

ルイス・キャロル/作

リスバート・ツヴェルガー/絵 石井睦美/訳(※BL出版)

ジョン・デニエル/さし絵 脇 明子/訳(※岩波書店)

時計を持って走り去る白うさぎを追って穴に飛び込んだアリス。その先の世界でアリスは不思議な薬を飲んで、巨大になったり小さくなったり。帽子屋、チェシャ猫、ハートの女王など風変わりな者たちと出会います。ディズニーでおなじみのアリス。本を読めばもっと不思議でもっと奇妙な冒険が待っています。

(※続編に「鏡の国のアリス」があります)

岩波少年文庫
[9081]



BL出版
[933キ]



岩波少年文庫
[9081]